



平成31年4月9日

**平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞を本学
情報メディア基盤センター 井佐原均教授と神崎享子特任准教授が受賞しました**

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めております。

この度、平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者が決定し、本学情報メディア基盤センター 井佐原均教授と神崎享子特任准教授が科学技術賞（科学技術振興部門）を受賞しました。

<受賞者>

【科学技術賞】（科学技術振興部門）

氏名：井佐原 均（いさはら ひとし）

所属：豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター長・教授

氏名：神崎 享子（かんだき きょうこ）

所属：豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター 特任准教授

業績名：「機械翻訳システムの社会実装技術の振興」

※研究の概要については別紙をご参照ください。

<受賞式について>

日時：平成31年4月17日（水） 12：10～

場所：文部科学省 3階 講堂

（参考）文部科学省 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/04/1415044.htm

※なお、個別取材も対応しますので、ご要望等ありましたら以下までご連絡ください。

本件に関する連絡先

担当：総務課副課長 與語貴生 TEL:0532-44-6512

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

H31 文部科学大臣表彰 科学技術賞

「機械翻訳システムの社会実装技術の振興」

(1) 成果の内容

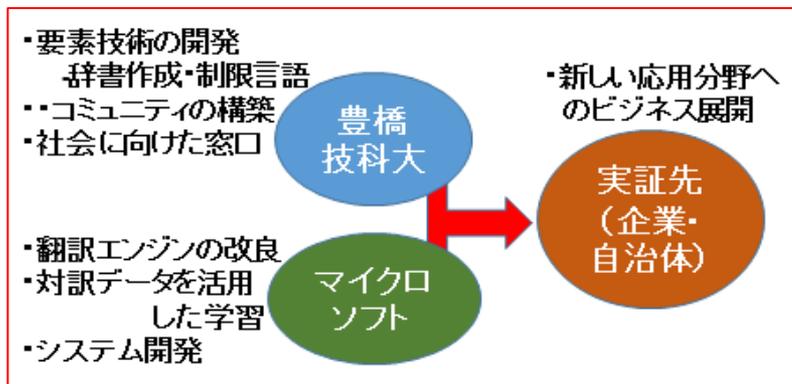
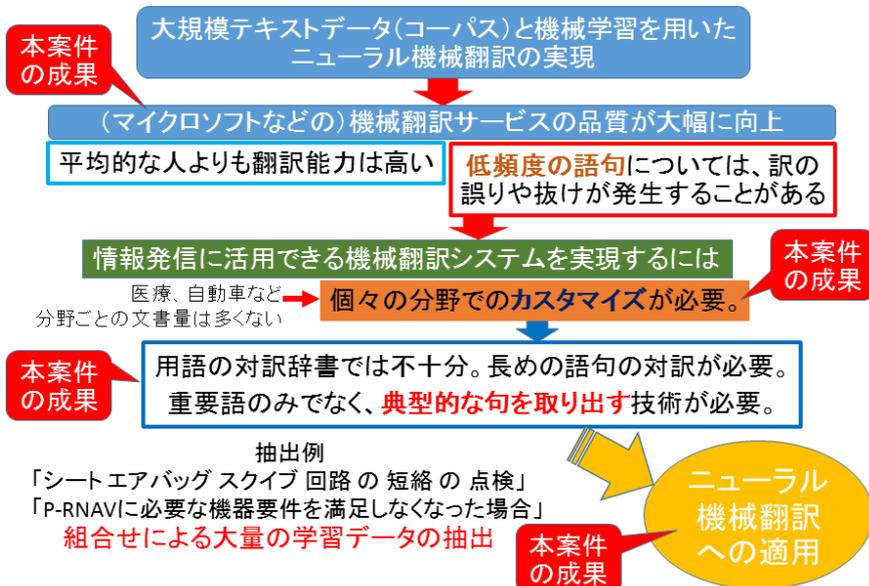
豊橋技術科学大学が要素技術開発を、日本マイクロソフト株式会社が多言語翻訳エンジンを開発し、両者の協働で、我が国のグローバル化に必須となる機械翻訳技術の社会実装を実現した。

(2) 成果の特徴、従来技術との相違等

ニューラル機械翻訳は流暢度は高いが、固有名詞や分野固有の言い回しなど、忠実度(正確性)に課題があった。本候補案件では、各ユーザの持つ比較的少量の分野特化のデータから典型的な語句(決まり文句)を抽出する技術や、用語の持つ概念を判別・体系化する技術を開発し、上記課題を解決するカスタマイズ技術を開発した。

(3) 社会的効果・実施効果

誰でも言語障壁を克服することが可能となり、1) 制約のない観光情報の多言語提供による観光産業の促進、2) 災害時などの多言語による緊急情報発信による在日外国人・観光客の安全の実現、3) 国内企業のグローバルビジネスの加速、4) 日本文化のグローバルな情報発信など、我が国の喫緊の課題の解決に貢献できる。



共同受賞者：田丸健三郎氏（日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 ナショナルテクノロジーオフィサー）

本成果の一部は豊橋技術科学大学イノベーション協働研究プロジェクトとして行われた。